

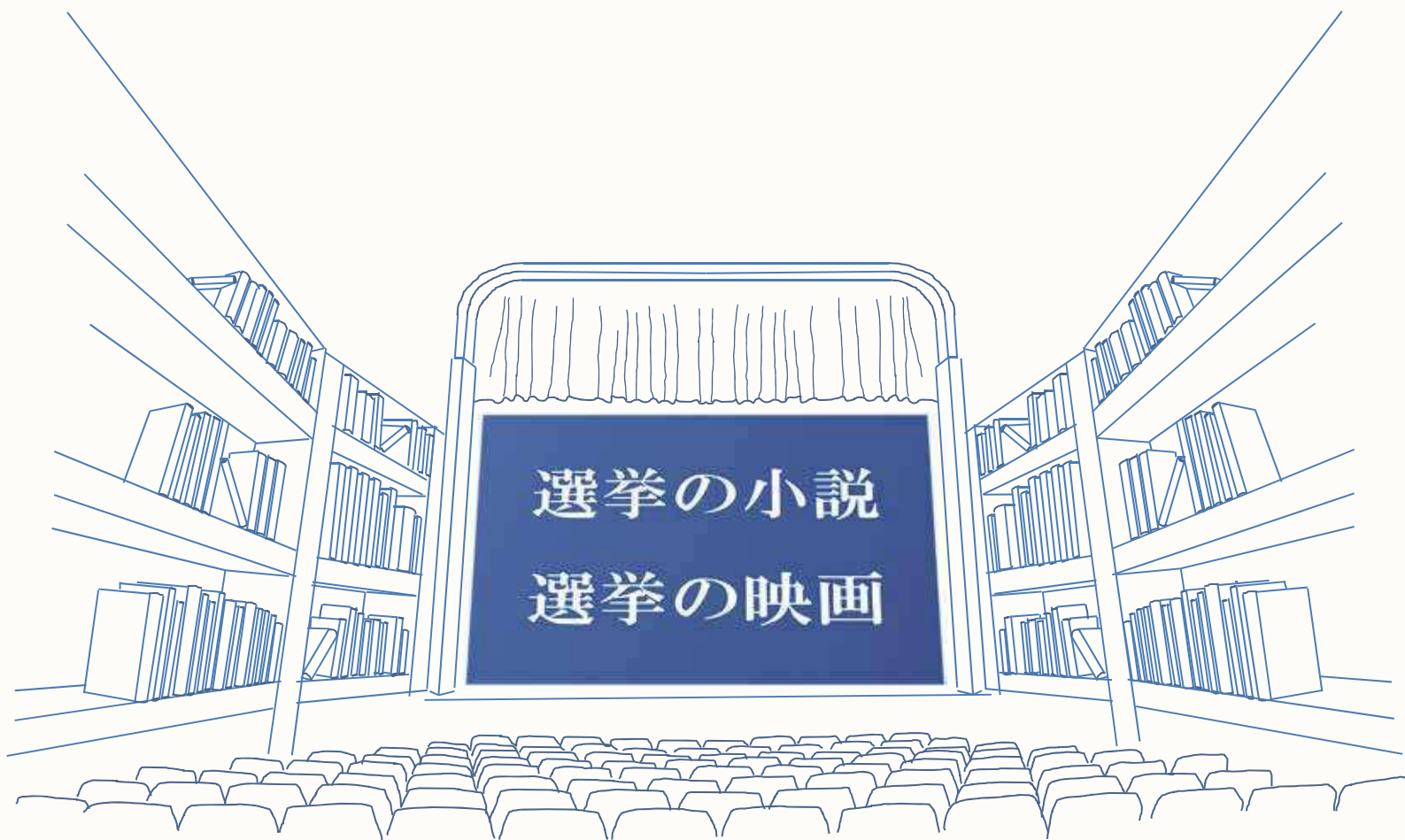
選挙・大切な一票

えらぼうと

～Era・vote～

No.8

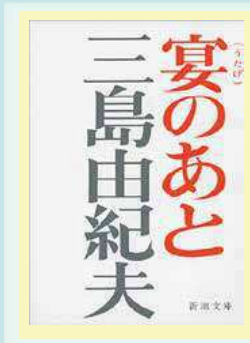
●「えらぼうと」は 選ぼう と vote(投票する) を組み合わせた造語です





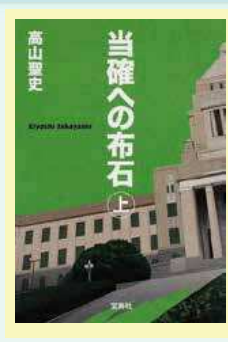
📖『花のズッコケ児童会長』 那須正幹著 ポプラ社
ズッコケ三人組の一人、ハチベエを喧嘩で負かした相手が児童会長選挙に立候補した。黙ってみていることができないハチベエは対抗馬を立てて戦おうと奮闘する。

生徒会長を選ぶとき、皆さんはどんなところを見ているだろうか。カッコいい優等生でも、実はいじめっ子かもしれない。人の良し悪しを判断するのは大人でも難しいことなのだ。でもこの物語を読めば、きっと自分の目で見て判断する大切さに気づくことができるだろう。さりげなく寄附禁止や事前運動の知識まで頭に入ってくる傑作小説。



📖『宴のあと』 三島由紀夫著 新潮社
料亭の女将かつは、高潔な理想に生きる夫に惹かれて結婚した。夫は革新党から知事選挙に出馬し、正論と正攻法で選挙運動を行う。それでは到底保守党候補に勝てないことを知っているかつは、夫に黙っ

てお金をばらまくように使い、全財産を投じて奮闘する。選挙の小説と言えばこの小説を思い浮かべる方も多いはず。「宴のあと事件」として大きな話題を呼び、高校の公民の教科書にも載っている。当初出版を予定していた出版社が発売を取りやめたため、出版社を移して発売し、現在まで重版が続いている伝説的作品。



📖『当確への布石』 高山聖史著 宝島社
大学教授の大原奈津子が発議院補欠選挙に立候補し、選挙戦に挑む物語。大原を含め、登場人物の多くが犯罪の被害者であることが特徴となっている。無所属で立候補し、犯罪被害者の支援整備を公約

に掲げる大原の訴えは、聴衆の支持を集めるが、与党や野党候補の組織的な選挙運動も巻き返しを見せる。短い選挙期間の内に様々な事情で足を引っ張られるものの、主人公の主張は少しも揺らぐことが無い。被害の瞬間を思い出すシーンは痛々しいが、真っすぐな主張が爽やかな印象を与える小説。



🎬『未来を花束にして』 サラ・ガブロン監督 Pathé
1912年のイギリス、幼いころから働き始め、男性よりも過酷な環境で、男性よりも安い給料で働かされ続ける女性たち。女性の意見が政治に反映されないままでは何も変わらないことを知った主人公は、

徐々に女性参政権運動にのめり込んでいく。映画の中に出てくるのは実際の事件であり、映画自体も活動家であったエミリー・デヴィソンの没後100年を記念して製作されている。100年というと昔のこのようだが、映画のラストでは女性の政治参加が歴史上の遠い話題ではないことを、改めて認識させられる。

選挙の小説

選挙に関する書籍はたくさんありますが、自分から興味をもって読んでみたことがある人は少ないのではないのでしょうか。今回ご紹介するのは、歴史に残るような名作や、笑ってしまうような傑作物語です。でも「面白かった」の後に、自然と選挙のことを考えてしまうはず。ぜひ1作品でも良いので手に取ってみて

選挙の映画

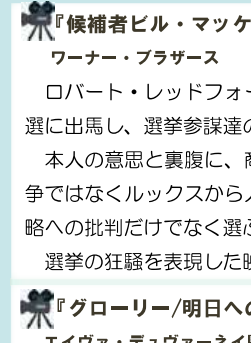
ください。

なお、この記事は、楽しみながら選挙を身近に感じてもらうことを目的として、小説や映画の紹介をするものです。民主主義と公平公正な選挙以外の、特定の主義や主張を支持するものではないということを予めご了承ください。

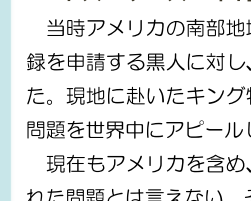


📖『一九八四年』[新訳版] ジョージ・オーウェル著 高橋和久訳 ハヤカワ文庫
独裁者のためにある世界。都合よく過去が書き換えられ、反逆につながる言葉は辞書から消え、反逆者とみなされた人間は突然いなくなる世界を描いた、ディストピア小説の金字

塔と言える小説だ。現在、日本の主権者は国民だが、もし主権者が国民ではなく、権力が一点に集中していたらどうなるか。またその体制を維持するためにどのようなことが行われるか、想像せずにはいられない。「選挙なんて面倒だから行かない」とは言えなくなる恐ろしい小説。



🎬『候補者ビル・マッケイ』 マイケル・リッチー監督 ワナー・ブラザーズ
ロバート・レッドフォード演じるマッケイは上院議員選に出馬し、選挙参謀連の力で人気を得ていく。本人の意思と裏腹に、商品のように宣伝され、政策論争ではなくルックスから人気を得ていく様子は、選挙戦略への批判だけでなく選べ側への批判にもなっている。選挙の狂騒を表現した映画として出色のでき。



🎬『グローリー/明日への行進』 エイヴァ・デュヴァーネイ監督 GAGA★
当時アメリカの南部地域では、投票に必要な有権者登録を申請する黒人に対し、様々な嫌がらせが行われていた。現地に赴いたキング牧師は非暴力の行進によって、問題を世界中にアピールしようとする。現在もアメリカを含め、多くの国で人種差別は解決された問題とは言えない。その意味でも重要な映画。

投票用紙の旅

私たちが投票用紙を投票箱に入れた後、大事な票はどうなってしまうのでしょうか。今回は最後の瞬間までを明るい選挙の推進キャラクター「めいすいくん」と一緒にご紹介します。

①投票



僕の投票用紙、これからどこに行くんだろう？

心を込めた投票から旅はスタート

②搬送



投票時間が終了すると、投票箱はすぐに施錠され、急いで開票所へと運ばれます。搬送には投票所職員だけでなく、投票管理者や警察官も同行し、万全を期します。



開票所周辺を警備する警察官

③開披



いよいよ開票所につきました。立会人監視の中、一齐に投票箱を開けて、まずは投票用紙の縦横を揃えます(上下表裏は揃えません)。

④分類



1分間に660枚も分類！

まとめられた投票用紙は、分類機にかけられます。1分間で660枚を候補者ごとに分類できるため、開票時間の短縮には欠かせない機械です。分類機の中で票は上下表裏全て同じ向きに揃えられ、さらに掃出し口に100枚たまと知らせてくれる優れものです。

⑦回示



色々な人の目でチェックされるんだね。

計数が済んだ票は候補者ごとにまとめられ、一定の数がたまと、候補者により選ばれた立会人の全員が票を確認します。確認が済むとそれぞれが押し、最後に選挙長(開票管理者)が確認と押印を行います。

⑥計数



点検後は計数機を使い、100枚の束であることを再確認します。一つの束につき、異なる2機種を使い、2回の計数が行われます。

⑤点検



分類機で候補者ごとに分けた票を、人の目でもう一度全てチェックします。束の中に他の候補者の票が混じっていないかなを見ます。



折っても元に戻る投票用紙

地味だけれど、投票用紙には特別な紙が使われています。滑らかな書き心地、破れにくい丈夫さ、耐水性など、様々な特性を持った「ユポ」という特殊紙が使われているのです。このユポの特徴は、何と言っても強い復元力！折り曲げて投函されても、投票箱の中で開いてくれるため、開票所で折れた投票用紙を開く作業が無くなり、開票時間の短縮に大きく貢献してくれています。

⑧集計

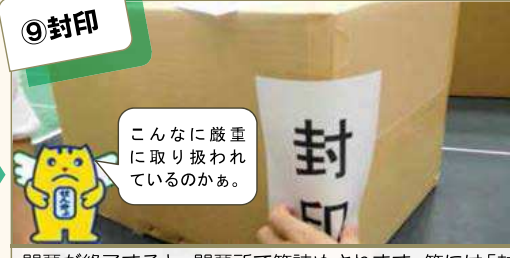


票の束に付ける付票(頭紙)には、確認をした人達のサインやハンコがたくさんあるよ。



開票管理者・立会人の確認印をもらい、集計係にたどり着くと、ここで候補者の得票としてカウントします。

⑨封印



こんなに厳重に取り扱われているのかあ。

開票が終了すると、開票所で箱詰めされます。箱には「封印」と書いた紙が貼られ、開票管理者・立会人はその全てに割り印を押します。ここで投票用紙の役目はいったん終わります。開票が済むと区役所に運ばれます。

突然クイズ！

区役所に持ち帰った皆さんの投票用紙は、その選挙で選ばれた人の任期満了まで保管されます。さて、その後はどうなるでしょう？

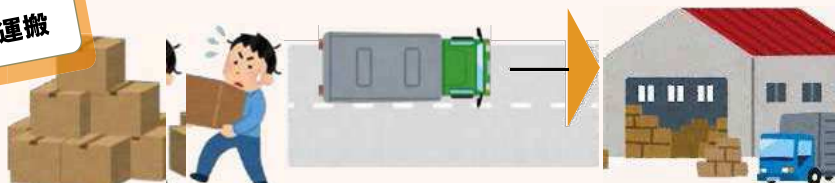
- 1 ヤギに食べてもらう
 - 2 メモ用紙にする
 - 3 リサイクルする
- 正解は次のページへ→

投票用紙の旅

～ リサイクル編 ～

⑩運搬

正解は3番でした。
それでは続きを見
てみましょう。



任期満了まで厳重に保管された投票用紙は、次の選挙の終了後に保管場所から運び出され、リサイクル工場に運び込まれます。投票用紙のリサイクルは東京23区で取りまとめて依頼しています。

⑪選別

工場に運ばれると、まず選別作業が行われます。開票作業の時につけられた、投票用紙を束ねる輪ゴムや、束ごとの付票を手作業で全て取り除く必要があるのです。複数枚の投票用紙を使う選挙では1000万枚を超える投票用紙が集まることを考えると、途方もない作業です。そこまでの苦勞をしてなぜ選別が必要なのでしょう。その秘密は後程明らかになります。

ここからリサイクルの工程が始まるぞ。投票用紙はどうやってリサイクルされるんだろう？



⑬溶解



粉碎の後は溶かす工程です。粉になった投票用紙は他の廃プラスチック製品と混ぜて、溶解機のベルトコンベアに乗せられ、一緒に溶かされます。

⑫粉碎



粉碎された投票用紙



選別の終わった投票用紙の行く先が粉碎機です。ここで投票用紙としての体裁は完全に無くなります。社員の方が次々と機械に投票用紙を入れていきます。粉々になった投票用紙から文字を読み取ることは不可能です。でも色は何となく見えがあるような無いような…。

ここまでくれば、どうして最初の選別作業が必要かわかりますね。そう、投票用紙はリサイクルする時、廃プラスチックに分類されるのです。プラスチックと普通の紙や輪ゴムは一緒にリサイクルできないので、面倒でも最初に選別しておく必要があるのです。

⑭押出



溶かされると押出機から出てきます。細い棒状になった投票用紙(もう面影はありません)はプールで冷やされます。

プールの先で棒は細断され、粒状(ペレット)になります。ここで再生原料を作る工程は終了ですが、原料としての均質性向上のため、時間ごとにたまったペレットを混ぜ合わせる、仕上げ作業が行われます。

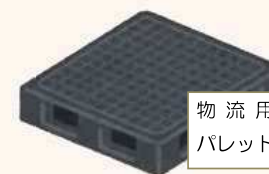
⑮再生



再生原料の攪拌機



いよいよ生まれ変わった投票用紙。上の写真がペレットです。リサイクル工場から出荷されると、これが原料となって物流用パレットや、雨水貯留槽に沈めるパレット、選挙啓発のうちわ等に生まれ変わります。長かった投票用紙の旅もここでついに終わります。



物流用
パレット



貯留槽用
パレット



うちわ

投票用紙の旅はいかがでしたか。思いを込めた投票用紙がどうなるのか、最後までご紹介しました。

プラスチック製品である投票用紙を回収し、リサイクルするのは大変な作業でした。お邪魔した東和ケミカル株式会社の社長は「便利な素材としてプラスチックを使うのだから、大切に使い回すを考えなければいけない」とおっしゃっていました。

僕らの票は一枚も無駄にならないことがわかったね！



ピンチの時は助け合い

国連の選挙支援



選挙支援というと、国内で記憶に新しいのは、東日本大震災後、全国の選挙管理委員会から、平成23年に岩手・宮城・福島の実行された選挙に職員が派遣されたことでしょうか。荒川区からも一名が岩手県に派遣され、知事選挙などの支援を行いました。一方で世界に目を向けると、災害に限らず様々な理由で、選挙の執行に支援が必要な国があります。そのような国に対して行われる、国連を中心とした選挙支援についてご紹介します。

明を行うことです。国連事務総長が選挙結果を証明することにより、結果を確定させ、その後の紛争を未然に防ぐ役割をしています。他にも多くの支援を展開し、支援を受ける国の状況や、その時々与えられた権限に合わせて、支援の内容が検討されています。

国連の選挙支援活動が盛んになるのは、内政干渉に敏感だった冷戦時代が終わる1990年代以降です。1989年のナミビアでゲリラの武装解除や難民帰還支援と共に、選挙支援が行われ、独立に導いたことが国連選挙支援の始まりです。2000年代では、21世紀最初の独立国となった東ティモールの議会選挙と大統領選挙を支援し、2011年には南スーダンの独立を決める住民投票の支援も行われました。

ちなみに、日本は一度も国連の選挙支援を受けていません。支援を受けることなく選挙を執行できることは、国が安定し平和であることの証拠と言えるのではないのでしょうか。

参考：国連開発計画駐日代表事務所(<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home.html>)、国連政治局(<https://www.un.org/undpa/en/elections>)

期日前投票所変更のお知らせ

現在、選挙の際は荒川総合スポーツセンターに期日前投票所を設けていますが、施設改修工事のため、**平成31年度に行われる選挙に限り**、荒川ふるさと文化館地下1階の視聴覚室・研修室に変更する予定です。平成31年度は区議会議員選挙と参議院議員選挙の2つの選挙が予定されています。

なお、その他の期日前投票所(荒川区役所、南千住駅前ふれあい館、町屋文化センター、シルバー人材センター、荒川遊園スポーツハウス、日暮里区民事務所)は変更ありません。



荒川ふるさと文化館(南千住図書館併設)

荒川区南千住六丁目63番1号

今号についてのご感想を、ぜひお聞かせください。ご連絡・お便りは選挙管理委員会事務局まで。お待ちしております。



見てね



バックナンバーはホームページをご覧ください。

編集委員

菅根	加恵子(南千住)	清水	恵美子(荒川)
大熊	裕子(町屋)	高橋	仁美(東尾久)
田中	敏行(西尾久)	鈴木	正子(西日暮里)
田代	貢(選挙管理委員会委員長)		
小林	清三郎(選挙管理委員会委員長職務代理者)		

平成30年9月発行
荒川区明るい選挙推進協議会
荒川区選挙管理委員会
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
電話3802-3111(代表) 3411(内線)
FAX3802-3124
登録番号 (30)0045